

令和6年度 第1回「北九州市教育支援委員会」会議録（要旨）

1. 日 時 令和6年5月8日（水）15時00分～16時30分
2. 形 式 ハイブリッド形式（集合・オンライン）
3. 出席者 〔北九州市教育支援委員〕大平壇委員（会長）他18名
（欠席：村上委員、山口委員）
〔事務局〕特別支援教育相談センター所長 北野里香他9名

4. 議事次第

- (1) 令和5年度 教育支援委員会の答申に基づく就学相談・通級相談の結果について
- (2) 令和6年度 教育支援委員会事業計画
 - ① 各種事業開催日時及び会場（案）
 - ② 教育支援委員会分掌及び業務（案）
 - ③ 就学先決定に伴う手続き（案）
- (3) 令和6年度 就学相談会実施要項
- (4) 令和6年度 就学相談会の申込みについて
- (5) 就学相談に係る答申とは異なり総合的判断を行って就学措置した児童生徒の状況調査

5. 議事（要旨）

- (1) 令和5年度 教育支援委員会の答申に基づく就学相談・通級相談の結果について

（事務局）令和5年度の申込み数は令和4年度と比べて、就学相談は59件、通級相談は237件増加し、総数は296件増加している。通級相談者数は751人と過去最高になっている。令和5年度より就学相談と併せて申し込むことができるようになったことで、教育的ニーズに対応できるようになり、申込みが急激に増加したと考えられる。

文科省の特別支援教育に関する調査において、特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒数は増加傾向にある。中でも、特別支援学校（知的障害）、特別支援学級（知的障害）（自閉症・情緒障害）に措置される児童生徒数の増加が一因となっている。

この傾向は、本市の就学相談にも見られ、特別支援学校（知的障害）、特別支援学級（知的障害）を希望し、措置される児童生徒数は増

加傾向にある。一因として、一人一人の実態に応じたきめ細やかな支援を希望する保護者が増加していることが挙げられる。

(委員) 電子申請が増えているという報告だが、電子申請のメリットを教えてください。

(事務局) 紙面の申込みはすべて手入力してデータ化するため、受付が完了するまでに時間をいただいている。電子申請はデータが揃うと受付が完了するため、スムーズに面談の日程調整ができる。

(2) 令和6年度 教育支援委員会事業計画

(事務局) 就学相談事業の基本方針としては、新小学1年生と新中学1年生を優先して実施し、早い時期の就学先決定と円滑な手続きを目指す。

就学相談の趣旨及び手続等の周知、理解啓発のため、保護者や関係園(所)、小中特別支援学校の管理職、発達支援事業所等への説明会を行った。

判定専門部員による就学相談会を実施するにあたり、判定専門部員の専門性向上に向け、面談の在り方、検査の在り方、合理的配慮の提供、基礎的環境整備についての研修を実施する。

(委員) 保護者が相談を望んでいない場合の対応について説明をお願いします。

(事務局) 就学時健康診断では管理職等と保護者との面談があり、学校長と入学後に必要な支援等を考える機会があることを伝えている。入学後も学校、学年全体で実態を把握し、再度相談することもある。

実際に学校に入ってみて、状況を見て保護者が納得する場合がある。

(3) 令和6年度 就学相談会実施要項

(4) 令和6年度 就学相談会の申込みについて

(5) 就学相談に係る答申とは異なり総合的判断を行って就学措置した児童生徒の状況調査

(事務局) 本年度も対象者に対し、学校訪問や電話連絡による聞き取り等を通して、状況調査を実施する。必要に応じて管理職とケース会議等を行い、必要に応じて継続的な相談の促しを実施する。状況調査の結果については、第2回教育支援委員会で報告する。